

第 21 回精華町環境推進委員会 会議録

会議の名称		第 21 回 精華町環境推進委員会
開催日時		令和 2 年（2020 年）2 月 28 日（金） 15 時 00 分～16 時 20 分
開催場所		精華町役場 図書館集会室
出席者	メンバー	上甫木委員（委員長）、井上委員（副委員長）、畑中委員、寺本英樹委員、木下委員、鷹居委員、山本委員
	事務局	精華町 健康福祉環境部 岩前部長 精華町 健康福祉環境部 環境推進課 竹島課長、藤原課長補佐、奥村主事
欠席者		寺本和生委員、井澤委員
議 題		議事 ① 精華町の環境（平成 30 年度分）について ② 第 1 次精華町環境基本計画総括について ③ 次年度の進め方について
資 料		資 料 1 令和元年度スケジュール 資 料 2 精華町の環境（平成 30 年度分） 資 料 3 第 1 次精華町環境基本計画総括（案） 参考資料 1 第 20 回精華町環境推進委員会会議録 参考資料 2 第 20 回精華町環境推進委員会ご意見及びご対応（案） 参考資料 3 精華町の環境について・子どもアンケート結果報告（子ども向け）
傍 聴 者		なし

1. 開会

・健康福祉環境部長あいさつ

2. 議事

① 精華町の環境（平成30年度分）について

上甫木委員長：それでは、次第に沿って進めていきたいと思ひます。議事1について事務局からの説明を受けたいと思ひます。

事務局：資料1、資料2について説明させていただきます。

○資料説明（事務局） 資料1、資料2について説明

上甫木委員長：前回の委員会にてご意見いただいた内容を踏まえて、今回、p.9に評価と町の対応ということで取りまとめいただひています。何か意見などござひましたらお願いします。

上甫木委員長：質問なのですが、参考資料2として前回委員会の意見及び対応としてまとめいただひている資料の中で、連接バスについての記載があるのですが、今回の総括の方に記載をされておられないのは、何か理由はありますか。

事務局：連節バスについては、現時点では検証を行っている段階であり、まだ、町としての対応をお示しし難い面があります。来年度以降で交通手段の関係についても検討していきたくて思ひています。

② 第1次精華町環境基本計画総括について

上甫木委員長：それでは引き続き、2つ目の案件、第1次精華町環境基本計画の総括について資料の説明をお願いします。

○資料説明（事務局） 資料3について説明

上甫木委員長：お気付きの所から、ご意見をいただければと思ひます。

鷹居委員：犬の散歩で町内を散歩しているが、最近、町内の東畑にある里山保全活動を実施している「せいか里山」のすぐ横の地域で、土砂の埋立てが行われている。

このことについて、町としてはどのように考えているのか。

事務局：町としても把握している。当該地については、事業者が地元地域と協定を結ばれて、京都府に林地開発の許可を取られているものであり、元々は土砂を採っていた跡地を山にしていく取り組みで、5年計画で山にしていく再生事業です。事業者で、定期的に水質調査、土壌調査なども実施されています。

山本委員：p. 25 の水質の部分について。農業を営んでいるものとして感想を述べさせていただきます。山田川水系上流の鹿畑などは、子どもの頃は山ばかりで家は無かった。水質調査の結果を見ると、生駒市の鹿ノ台などの生活排水が入ってきていると思われる。放水の所は基準を満たしているが、水量が少ないのに、雨が降らなければ、水は大変濁っており、田んぼに水を入れる時に直ぐに、入れることは出来ず、しばらく水を流してからしか使えない。

上甫木委員長：次回の基本計画では、開発と水質の経年変化等についても検討できればと思う。

木下委員：P. 30 の精華町環境ネットワーク会議の取り組み紹介の中で、グリーンカーテンの取り組みは現在行っていない。これまでの取り組みと今やっていることを分けて書かれた方が良いのではないかと。

事務局：ご意見を踏まえて見直しさせていただきます。

寺本委員：P. 43 に地域で環境活動に取り組む団体等の意識が記載されているが、その中に「精華町で良いところ・大切にしたいところ」の項目に「新しい住宅街に国会図書館・大手企業が立地しているところ」との意見がある。これをどう維持していくのか、財政も保てるのか、ということが重要である。また、将来として「学研都市として世界に通用する町であって欲しい」という意見もある。今回の委員会の内容は、協議会に持って帰って報告し、次回は協議会として出来ることや意見をまとめて参加したい。

上甫木委員長：来年度は第2次計画の策定を行う予定であるので、ぜひ、お願いしたい。

事務局：地域創生の計画を全国どこでも持っているが、町としても学研都市と地域がどのような関係を持っているのか確認中です。今後は、地域住民も含め、企業と連携して、もう一歩進めた取り組みを進めていきたいと考えています。

寺本委員：毎年、地域の中学生の体験学習を多くの企業が受け入れているが、子どもたちが、体験学習の感想文を書いてくれる。それを読むと、企業としても協力したくなる。この取り組みは町の取り組みなのか。

事務局：学校の職業体験授業であって、けいはんな学研都市以外にも町内の企業や商店に行く取り組みです。

上甫木委員長：今年度は総括なので、来年度の計画策定に向けて協議会からご提案をいただければ、色々と面白くなるのではないかと。

畑中委員：先日もサントリーの研究所の方とお話する機会があったが、地域と企業の間をつなぐ人が必要だと感じている。精華町に立地する企業ではSDGsなどへ関心や意識もある事業者もおられる。地域と企業との間に入って、教育上の意味やSDGsとの関わりなどを明確にし、繋いでいくことが求められている。それを誰がやるのか、などを考えて行ければ良いと思う。

事務局：けいはんな学研都市と企業との関係においても、企業側から色々と質問を受けて回答していますが、中々そこからの一歩が踏み出せていません。企業の大

きなテーマと、地域の取り組みを上手く繋ぐ人がいないのが現状で、コーディネート役がない事が課題です。

鷹居委員：本日の資料3は今後の指針なのか。

上甫木委員長：これは、これまでの第1次精華町環境基本計画の総括であり、これまでの取り組みを振り返り、今後に向けた課題を抽出し、総括しているものである。これまでの説明にもあった通り、今後については、来年度、第2次環境基本計画を策定予定であるので、引き続き委員会にてご議論いただきたい。

事務局：環境基本計画も通常の行政の計画のスタイルで、計画期間は10年、5年で中間見直しとなっています。

鷹居委員：総括では、精華大通りの事に触れていないのは、府の道路だからか。かつての精華大通りは年に数回草刈りがされていたが、現在は草が伸び放題で空き缶やごみが放置されている。イベントのルートだけが直前にきれいにされ後は伸び放題で、ごまかしである。

事務局：町の街並みの位置付けもあるので、町からも府に対しては申し入れています。数年前までは年に数回刈っていたが、回数が減ってきています。

寺本委員：立地企業はみんな清掃の日を設けて綺麗にしている。

上甫木委員長：みなさんお忙しいとは思いますが、本日の資料を読み込んでいただいて、来年に向けてどうするか、共通理解の元進んでいけたらと思うので、引き続きよろしくお願ひしたい。

③ 次年度の進め方について

上甫木委員長：それでは引き続き、3つ目の案件、次年度の進め方について事務局からお願いします。

事務局：来年度は、第2次精華町環境基本計画の策定に向けて3回の委員会の開催を予定している。現時点でのおおよそのスケジュールは、7月頃に第2次精華町環境基本計画の方向性の確認、11月頃に第2次計画の素案についてご議論いただき、2月頃に意見を踏まえた最終案についてご確認いただく予定である。まずは、一番近い7月の開催日程については、なるべく早く決めていきたいので、ご協力いただけますようお願いいたします。

井上副委員長：この委員会はどのような開催周期か。

事務局：年に2から3回開催しています。

井上副委員長：住民にとって環境といえばまず、ポイ捨てや水などの身近な問題であり、いかにポイ捨てなどをなくせるかといったことを具体的に話し合うことが必要であると認識している。私も動きますから、みんながひとりひとり考え行動しないといけない。今後もよろしくお願ひいたします。

上甫木委員長：もちろん住民のみなさんにとって身近な環境問題は大切なことである。今回は、第1次精華町環境基本計画の総括ということで、大きな話が多くなっ

ていた。身近な環境問題についても引き続き議論を深めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。本日は、以上とさせていただきます。

3. 閉会

事務局：先ほどの説明の通り、次年度の第1回は7月頃に予定しています。本日はお忙しい中、長時間に渡り活発なご審議をいただき誠にありがとうございました。

(以上)